ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/11/11 号(As of 2024/11/08)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	153.16
TKY 9:00AM	153.15	1.0795	165.29	1.2983	0.6673
SYD-NY High	153.36	1.0805	165.29	1.2988	0.6681
SYD-NY Low	152.14	1.0687	163.26	1.2885	0.6559
NY 5:00 PM	152.65	1.0719	163.58	1.2925	0.6584

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,988.99	259.65	日本2年債	0.5000%	0.0000%
NASDAQ	19,286.78	17.32	日本10年債	1.0000%	▲0.0100%
S&P	5,995.54	22.44	米国2年債	4.2498%	0.0557%
日経平均	39,500.37	118.96	米国5年債	4.1916%	0.0229%
TOPIX	2,742.15	▲ 0.93	米国10年債	4.3053%	▲0.0195%
ｼｶｺﾞ日経先物	39,170.00	▲ 560.00	独10年債	2.3640%	▲0.0750%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,072.39	▲ 68.35	英10年債	4.4315%	▲0.0675%
DAX	19,215.48	▲ 147.04	豪10年債	4.5570%	▲0.0910%
ﾊﾝｾﾝ指数	20,728.19	▲ 225.15	USDJPY 1M Vol	9.86%	▲0.39%
上海総合	3,452.30	▲ 18.36	USDJPY 3M Vol	10.45%	▲0.22%
NY金	2,694.80	▲ 11.00	USDJPY 6M Vol	10.32%	▲0.14%
WTI	70.38	▲ 1.98	USDJPY 1M 25RR	▲0.80%	Yen Call Over
CRB指数	281.68	▲ 4.52	EURJPY 3M Vol	9.65%	▲0.06%
ドルインデックス	105.00	0.49	EURJPY 6M Vol	9.79%	0.00%

【昨日の指標等】

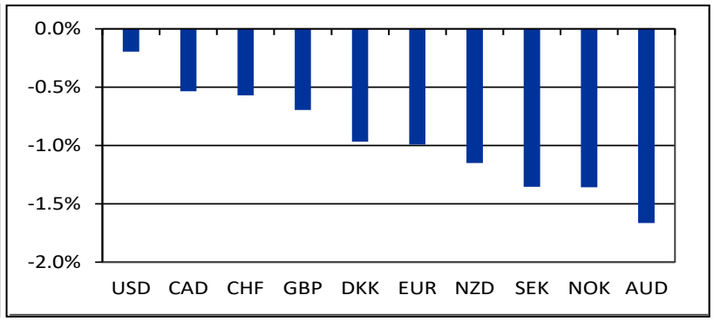
Date	Time		Event		結果	予想
11月9日	00:00	米	ミシガン大学消費者マインド	11月	73.0	71.0
	10:30	中	CPI(前年比)	10月	0.3%	0.4%
	10:30	中	PPI(前年比)	10月	-2.9%	-2.5%

【本日の予定】

Date	Time		Event	予想	前回
11月11日	08:50	日	日銀金融政策決定会合 主な意見	-	

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	152.00－153.80	1.0660－1.0780	163.00－164.50

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は153.15ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。序盤はじりじりと値を上げる展開となり、仲値後に153.36をつける。その後は加藤財務相による円安けん制発言がなされたことや、ｱｼﾞｱ主要株が揃って軟調な推移となったことから、円買い地合いに。ﾄﾞﾙ円は152.55まで下落後、引けにかけてやや値を戻し、152.86ﾚﾍﾞﾙで海外時間へ渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、152.86ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。引き続き円買いが継続的に入り、ｸﾛｽ円の下落を伴って下落し、結局152.36ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は152円台後半でｽﾀｰﾄ。ﾄﾗﾝﾌﾟ･ﾄﾚｰﾄﾞの一巡を背景とした売りが先行し、152.14まで下落。その後は下げ渋り、152.36ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は低下していた米金利が戻す展開に買い戻しが優勢となり、152.85まで上昇。しかし続いて発表された米11月ﾐｼｶﾞﾝ大学1年先の期待ｲﾝﾌﾚ率が予想を下回った事を受け、152.38まで下落。その後は、ﾄﾗﾝﾌﾟ前大統領が米通商代表にﾗｲﾄﾊｲｻﾞｰ氏に要請すると一部で報道されると、ﾄﾗﾝﾌﾟ･ﾄﾚｰﾄﾞが再度進み、高値圏の152.80付近まで反発。午後は米国が3連休を控える中、米金利が上昇幅を縮小する動きが上値を抑え、152.60付近まで反値を下げ、152.65ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.08台前半でｽﾀｰﾄ。じり安で推移し、1.0772ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は先述の米金利の上昇が重しとなり、1.0687まで続落。午後は売り一巡となり、終盤にかけて小幅反発し、1.0719ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円相場はトランプ氏勝利による金利上昇・株高が一服したことで、152円台前半から後半にかけてもみ合う展開となった。米大統領選・FOMCといった重要なイベントを通過し、材料が出尽くしており当面は方向感に欠ける動きとなる模様。本日のドル円相場は、152円台後半から153円を挟んだ神経質な展開を予想。本日は日銀が10月金融政策決定会合における「主な意見」を発表する。会合後の植田総裁の記者会見と比較して、タカ派的な意見が出る可能性があり日銀の早期追加利上げ期待を高める可能性がある。また本日は特別国会が召集され、首相指名選挙が開催される。国民民主党の荷担により石破首相の続投が決定する見通しだが、国民民主党代表の玉木氏の力が高まっていくと見込まれる。玉木氏は日銀の利上げに関して否定的な姿勢を示しており、日銀の追加利上げの重しとなるリスクも控えている。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:原田・鈴木